

(仮称) 浜田市協働のまちづくり推進条例 (案)
 に対する意見と浜田市の考え方
 (旭自治区地域協議会)

No	ご意見の概要	浜田市の考え方
1	<p>協議会委員は各自治会から選出されており、その自治会役員任期の2年を協議会委員の任期と合わせてきた経過がある。</p> <p>協議会役員任期が令和3年度から2年となると、来年度以降ズレが生じることになる。旭だけとはいかないだろうが、任命期間について特段の配慮をお願いしたい。</p>	<p>見直しの中で2年周期がズレてしまい困るというのは承知している。今後検討していきたい。</p>
2	<p>この条例案は非常に素晴らしいと感じている。しかし、実行に移す場合、いきなり新たな体制構築や人材育成と言われても困ることもある。住民主体で活動できるようになるまでの間は、行政も一緒になって進めていくことをお願いしたい。条例が素晴らしいだけで終わらないようにしたいと考える。</p>	<p>すぐに行政が手を放すことは考えていない。</p> <p>検証する組織も置くことから、まちづくりの課題を検討するなど、様々な意見を伺いながら一緒に進めていきたい。</p>
3	<p>地域と行政との協働は、職員の積極的な参加が重要と考える。地域も行政職員に頼ることが大きいと思うので、行政職員のリーダーシップにまず期待したい。</p>	<p>地域貢献のために地域に出向き、地域と一緒に活動することは職員としての使命ではないかと考えている。条例に盛り込むため、地域との関わりについて改めて検討していきたい。</p>
4	<p>自治会や地域からの要望について、これまで区長を通じて市長に届けてもらっていると認識している。</p> <p>自治区制度がなくなると、地域協議会が主体的にまとめるのか、支所長を通すのか、イメージがしにくい。市長が各地区を回ることはできるのか。</p>	<p>地域の声をどう届けるかについては、各地域協議会から指摘はいただいている。自治区長でなくても、地域協議会や地元議員を通じてなど要望を届ける形は様々あり、これまでもそうされていることから、今後もその形式は変わらない。</p> <p>また、兼ねてから市長は地域協議会などに出席したい意向はあるが、公務の都合もあるため、場合によっては副市長、関係部長が出席することも考えている。</p>
5	<p>コミセン化について、センター職員の配置人数によっては事務所が狭いところもある。対応をどう考えているか。</p>	<p>職員3人を原則とはしているが、人数については柔軟な対応を考えている。また、事務所の広さについては個別に対応したい。</p>